

平成23年度
工事調達における
総合評価落札の運用ガイドラインの改定

中部地方整備局

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

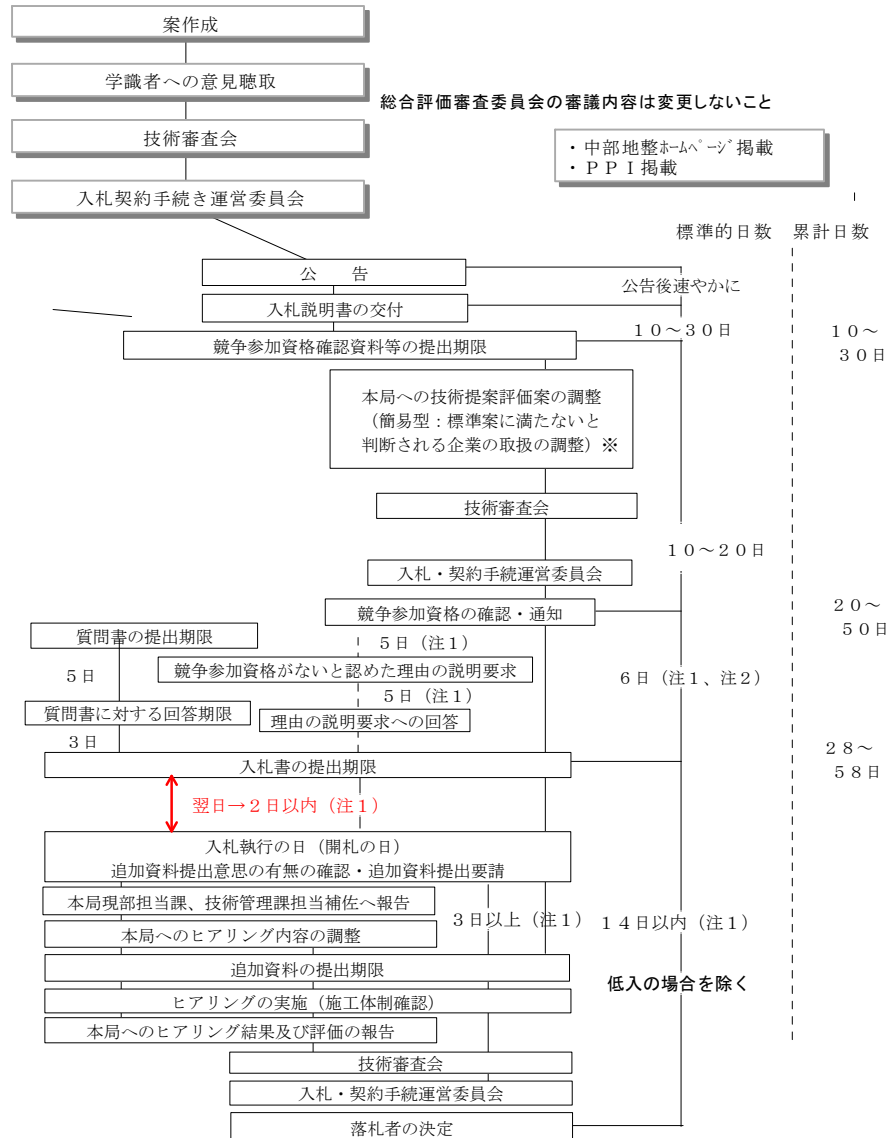
《改訂のポイント》

- ①入札手続きの見直し:開札日の1日延期、採否通知は標準型で継続実施
- ②入札参加要件の見直し:乙型JVの出資比率見直し
- ③配点の見直し:簡易型技術提案配点、CPDの見直し
- ④評価項目の見直し:建設ICTの活用を追加、一部評価項目の廃止、見直し

	平成22年度	平成23年度
入札手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・開札は入札書提出期限の日の翌日 ・採否通知は本官標準型 I 型 	<ul style="list-style-type: none"> ・開札は入札書提出期限の日の翌日から2日以内 ・採否通知は本官標準型 I、II 型及び分任官標準型 I、II 型の一部
参加資格	<ul style="list-style-type: none"> ・乙型JVの工事实績は、出資比率20%以上に限る 	<ul style="list-style-type: none"> ・乙型JVの工事实績については、出資比率を問わない
配点	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易型 簡易な施行計画[5点] ・継続教育(CPD)単位[2点] 〔1年で推奨単位以上を取得した場合 2点 2年で推奨単位以上を取得した場合 1点〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易型 簡易な施行計画[10点] ・継続教育(CPD)単位[1点] 1年で推奨単位以上を取得した場合に限定
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <新規> ・自社保有のフィニッシャー、技能者[舗装限定] ・近隣地域内の工事实績 ・災害復旧等の地域貢献 ・災害活動実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設ICTの活用 <廃止> <一部廃止> ・項目統合(評価対象期間:2年間→5年間) ・鳥インフルエンザ等防疫活動及び中部地整が要請した管外での実績も評価

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

標準型(Ⅱ型)・簡易型【施工体制確認型総合評価方式】
 (一般競争入札(政府調達に関する協定に基づく場合を除く【拡大】))



開札の日

入札書の提出期限の翌日



入札書の提出期限の翌日から2日以内

※ あらかじめ日時を調整すること
 (注1) 日曜日、土曜日、祝日等を含まない。
 (注2) 6日は企業からの説明要求がない場合の日程であり、説明要求があった場合は11日とする。

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

全ての工事

評価項目		一般競争（拡大）						WTO		
		簡易型 Ⅱ型	簡易型		標準型Ⅱ型		標準型Ⅰ型		標準型Ⅰ型 標準型Ⅱ型	
			適用	配点の範囲	適用	配点の範囲	適用	配点の範囲	適用	配点の範囲
企業の 技術提案	技術提案1		—		○		○		○	
	技術提案2		—		—		○		(○)	
	簡易な施工計画		○		—		—		—	
配置予定技術者ヒアリング							—		(○)※3	10点
施工 能力等	施工能力	担当技術者の資格		(1点) ※2						
		1) 自社雇用の技能者（職長及びその他の技能者）の配置状況 2) 自社保有機械「フィニッシャー等」の使用の有無		(2点)						
		建設ICTの活用 「TS」を活用した施工を実施		(2点)				(2点)		
	技術者の 能力	配置予定技術者の同種・類似工事の施工実績		3点				3点		
		継続教育（CPD）単位の取得状況		2点 1点		最大20点 (最大25点) ※1		1点 2点		
		工事成績	平成1819年度以降に完成した工事成績 配置予定技術者の実績として提出された成績を評価		5点			5点		
		技術者表彰	平成19～22年度表彰		2点			2点		最大20点
	企業の 能力	企業の同種・類似工事の施工実績（平成8年度以降）		3点				3点		
		工事成績	中部地整（港湾空港関係除く）発注の平成20、 21年度の「当該工種」実績の平均点		6点			6点		
		優良工事表彰等	平成21、22年度表彰（認定）		4点			4点		
		安全工事表彰	平成21、22年度表彰		1点			1点		
		その他表彰	平成21、22年度表彰		1点			1点		
		工事成績	中部地整（港湾空港関係除く）発注の平成20、 21年度の工事成績で「60点未満」がある場合		・2工事以上：-12点 ・1工事：-6点				・2工事以上：-12点 ・1工事：-6点	
	地域	地域 精進度	平成8年度以降の近隣地域内の工事成績		1点 ※1			1点 ※1		
			地域内の拠点の有無		3点 ※1					
地域 貢献度		災害活動実績		4点 3点		最大10点 (最大5点) ※1		2点 4点		
		災害協定締結の有無		3点				1点		
		災害復旧等の地域貢献		2点				4点		
		ボランティアによる地域貢献		1点				1点		
		道路除雪作業の実績		2点 ※1						
直轄河川・道路維持作業の実績		2点 ※1								
事故等による指名停止等（マイナス評価）			-3点				-3点			
贈賄等による指名停止等（マイナス評価）			-3点				-3点			
小計			30点				20点		—	
加算点 合計			30点	35点40点	50点～55点		60点～70点		30点～60点	

企業の技術提案における、WTO 高度技術提案型 標準型Ⅰ型 標準型Ⅱ型においては、工事の規模・内容に応じて数値方式・判定方式を採用する。

また、標準型Ⅱ型及び簡易型における企業の技術提案は、評価項目を1項目のみとする。

※1 地域要件の設定が中部地整管内の場合は評価しないとともに「施工能力等」を最大25点、「地域」を最大5点とする。

※2 工事種別が「アスファルト舗装工事」又は「セメント・コンクリート舗装工事」の場合のみ評価項目とする。

※3 WTO対象工事の内、技術的難易度が比較的高く、配置予定技術者の技術力が求められる工事

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

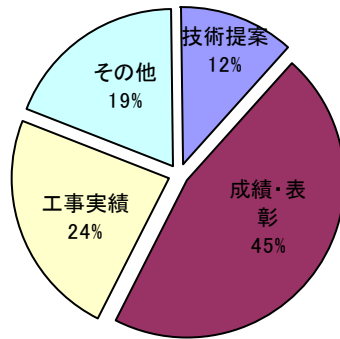
○簡易型技術提案(簡易な施工計画)の配点について

<ポイント>

- ・技術提案と施工能力・地域貢献度の評価バランスを見直し、技術力を適切に評価できる配点に見直す

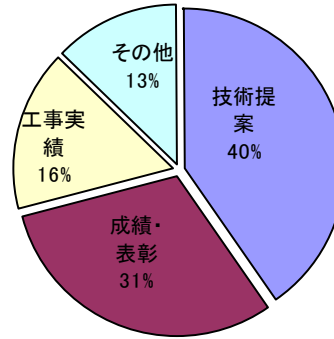
《配点比率》(技術提案:その他)

簡易型(1:9)

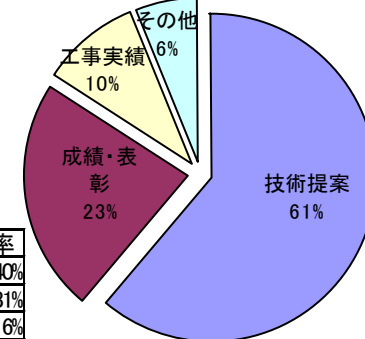


変更

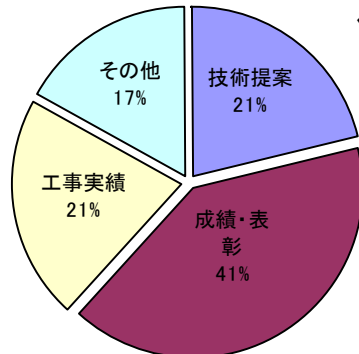
標準型Ⅱ型(4:6)



標準型Ⅰ型(6:4)



簡易型(2:8)



項目	配点	比率
技術提案	10	21%
成績・表彰	19	40%
工事実績	10	21%
その他	8	17%
計	47	100%

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

○「建設ICT」について(新規)

<ポイント>

・モデル工事の施工により有効性が確認され標準的な施工として普及してきている「建設ICT技術」を評価し品質向上を図るとともに、建設ICT技術の普及促進を図る

《変更案》

- ①「TS」を活用する場合は出来型の品質向上が図れることから施工能力として評価
- ②技術提案において「TS」以外のICT技術を活用し有効な提案の場合は更に加点

平成22年度	平成23年度改訂案
(施工能力)	(施工能力) ・建設ICTの活用[最大2点] 「TS」を活用した出来型管理を実施する場合は評価 (ICT活用計画書を添付) 【対象工事】 土工(盛土、切土、床堀500m ³ 以上) 法面工(機械整形250m ² 以上) 舗装工(As・排水性舗装表層1,000m ² 以上) 路盤工(1,000m ² 以上) (技術提案 標準型)(3点を上限に加算) 提案内容が「建設ICT(TSを除く)」の有効な技術を使用し優位性が確認された場合は高く評価 ※対象技術は別紙

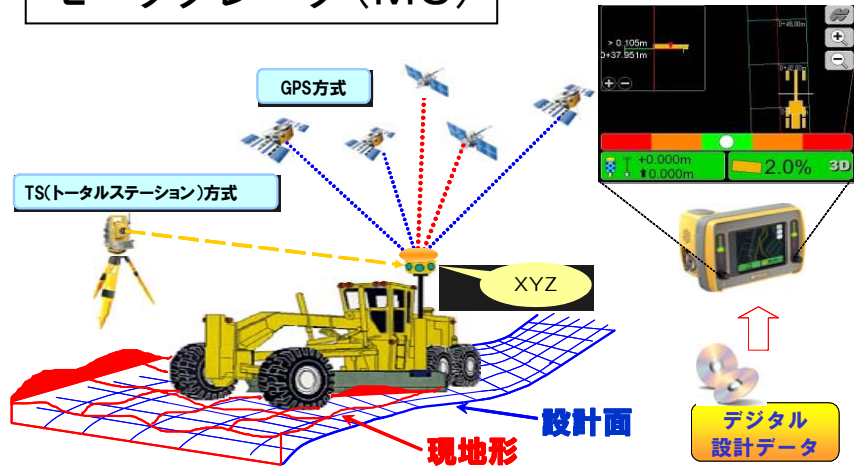
平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

技術提案として優位性が確認された場合に活用高く評価する技術

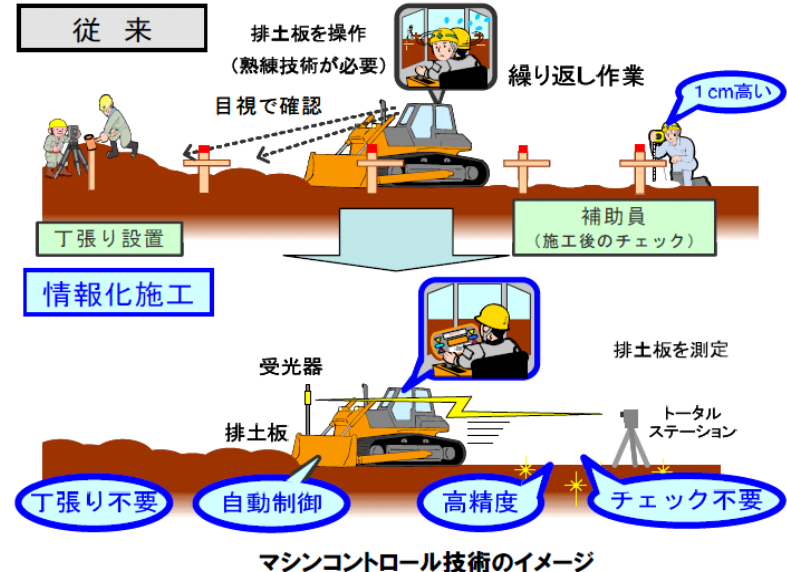
別紙

技術名	対象機種・工種等
MC技術 (マシンコントロール)	モーターグレーダー、ブルドーザー、 Asフィニッシャー
MG技術 (マシンガイドンス)	ブルドーザー バックホウ
TS・GNSS締 固め管理	土工
加速度応答締 固め管理	土工
その他技術	As温度管理、ICタグ、3D-CAD、レーザス キャナ

モータグレーダ (MC)



ブルドーザ (MC・MG)



TS出来形管理

トータルステーションの画面

断面:NO.0+4.512右1番

◆標高◆	FL 0.570(m)
	測定 0.506(m)
	0.064 m 低い
◆離れ◆	設計 右1.000(m)
	測定 右1.012(m)
<input type="checkbox"/> 断面途中	0.012 m 右側

戻る 記録 モード 測定

出来形観測

出来形計測データ

T₁₀₀ 1183.2410, 1341.3440, 16.7310, R1N2

T₁₀₁ 1184.6050, 1340.4890, 16.7220, F1N0

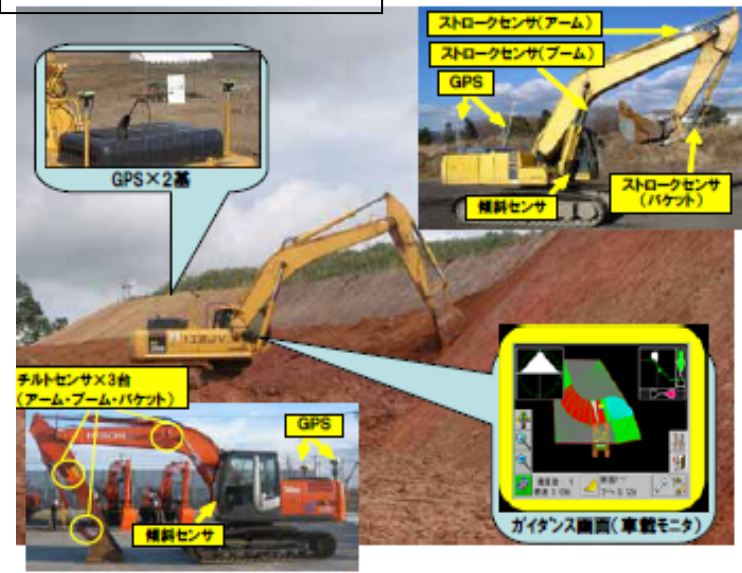
T₁₀₂ 1188.0550, 1337.7340, 16.6810, L1N1

基準点A XYZ

基準点E XYZ

器械点 XYZ

バックホウ (MG)



平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

○「地域精通度」について

<ポイント>

・近隣地域内の工事实績として評価する対象範囲が中部地整管内の場合、広範囲となるためほとんどの参加者が加点対象となり、適切な評価となっていないため、地域要件が中部地整管内の場合は評価しない

①地域要件が地整管内の場合は評価項目から削除

平成22年度	平成23年度改訂案
<p>・地域 地域精通度[最大1点] 平成8年度以降の近隣地域内における一定規模以上の工 事実績がある場合は評価 (平成8年度以降に完成し、引き渡しが進んでいる工事のうち 近隣地域内で元請けとして施工した実績(発注機関及び工手 種は問わない)を記載し添付)</p>	<p>評価対象の範囲が中部地整管内の場合は評価しない</p>

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

○「継続教育(CPD)」について

<ポイント>

・全国と比較して加算点が高く、見直しが必要。併せて評価期間も見直す

①評価期間は、平成22年4月1日以降申請日までとし、年間推奨単位取得のみ評価

②加算点は、全国と整合し1点とする

平成22年度	平成23年度改訂案
<p>・継続教育(CPD)単位の取得状況[2点] 平成20年4月1日以降に、配置予定技術者が年間推奨単位以上を取得した場合に評価 年間推奨単位以上を1年以内に取得 2点 年間推奨単位以上を2年以内に取得 1点 建設系CPD協議会の加盟団体が発行した証明書が添付された場合に限り評価</p>	<p>・継続教育(CPD)単位の取得状況[1点] 平成22年4月1日以降申請日まで、配置予定技術者が年間推奨単位以上を取得した場合に評価 建設系CPD協議会の加盟団体が発行した証明書が添付された場合に限り評価</p>

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

○「施工能力(As.Co舗装)」について(自社保有フィニッシャー、自社雇用技能者)

<ポイント>

- ・全国的な評価状況を勘案し、取りやめ
- ・新たに「建設ICTの活用」を新設

①評価項目を削除

平成22年度	平成23年度改訂案
<p>・施工能力[最大3点]</p> <p>○担当技術者の資格</p> <p>1級舗装施工管理技術者の資格を有した技術者を配置できる場合……1点</p> <p>管理技術者、現場代理人等と兼務の場合……0.5点</p> <p>○自社雇用の技術者の配置、自社保有の機械の使用</p> <p>自社雇用のフィニッシャーのオペレーター等が1名以上従事する場合……1点</p> <p>自社保有のフィニッシャー又は3年以上のリースで自社施工専用使用するフィニッシャーを使用する場合……1点</p>	<p>○担当技術者の資格(継続)</p> <p>1級舗装施工管理技術者の資格を有した技術者を配置できる場合……1点</p> <p>管理技術者、現場代理人等と兼務の場合……0.5点</p> <p>(削除)</p>

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

○「災害復旧等に関する地域貢献」について

<ポイント>

- ・参加企業からの提出書類が輻輳
- ・災害活動実績と災害復旧の地域貢献度の評価を統合

①災害復旧等の地域貢献を災害活動実績と統合

平成22年度	平成23年度改訂案
<p>・災害活動実績[3点(1点)] 平成17年4月1日以降に、中部地方整備局管内において、国の機関、政府関係機関、自治体等の要請を受けて緊急的に実施した災害支援活動の実績が有る場合に評価 (活動実績を証明する資料として、要請書、協定書、契約書等の写し、若しくは自治体の参加実績証明書を添付)</p> <p>・災害協定締結の有無[3点(1点)] 入札参加者が会員等となっている法人格を有する団体と中部地方整備局、事務所、拠点設定地域において国の機関、政府関係機関、自治体等が協定締結している場合評価 (最新の協定書の写しと最新の団体構成員であることを証明する資料の写しを添付)</p> <p>・災害復旧等の地域貢献[2点(1点)] 災害復旧等で中部地整局長から表彰を受けた場合又は同一県内で事務所長から感謝状を受けた場合。評価受賞日より2年間 (表彰、感謝状の写し、団体の場合は当該企業が参加したことを証明する書類を添付)</p>	<p>・災害活動による地域貢献[4点(2点)] 平成18年4月1日以降に、中部地方整備局管内において、国の機関、政府関係機関、自治体等の要請を受けて緊急的に実施した災害支援活動(鳥インフルエンザ等防疫活動を含む)及び中部地方整備局管外において、中部地方整備局、事務所の要請により災害支援活動の実績が有る場合に評価(3点・1点) (活動実績を証明する資料として、活動年月、場所、内容が確認できる災害活動の概要書を作成し、要請書、協定書、契約書等の写し、若しくは自治体の参加実績証明書を添付。) 感謝状、表彰を受けた場合は、更に高く評価(+1点)</p> <p>・災害協定締結の有無[3点(1点)] 入札参加者が会員等となっている法人格を有する団体と中部地方整備局、事務所、拠点設定地域において国の機関、政府関係機関、自治体等が協定締結している場合評価 (当該年度内の団体が発行する構成員であることを証明する資料の写しを添付)</p> <p>(廃止統合)</p>

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

申請様式の追加

災害活動実績概要書

災害活動実績概要書

災害活動の概要	(記入例) 平成〇年〇月〇日に発生した「〇〇地震」により被災した国道〇号線の土砂撤去及び舗装復旧工事を実施
実施年月日	平成22年〇月△日～平成〇〇年〇月△日
実施場所	〇〇県〇〇市△△
要請を受けた機関	中部地方整備局 (〇〇県)
元請・下請の別	元請 下請
添付した活動実績を証明する書類 (記入例) ・ 中部地方整備局 (〇〇県) との災害協定書の写し ・ 中部地方整備局 (〇〇県) からの要請書の写し ・ 中部地方整備局 (〇〇県) との契約書の写し ・ 〇〇市が発行した参加実績証明書の写し (活動実績が二次下請け以降の場合) 関係機関が元請けに発行した上記書類の写し ・ 元請けから下請けへの要請書又は契約書の写し	

ボランティア活動実績概要書

ボランティア活動実績概要書

活動の概要	(記入例) 平成〇年〇月〇日より「〇〇川清掃活動」に参加
活動年月日	平成22年〇月△日～平成〇〇年〇月△日
実施場所	〇〇県〇〇市△△
表彰等を受けた機関	中部地方整備局 (〇〇県)
表彰年月日	平成〇年〇月〇日 <small>※受賞日より2年間が対象</small>
添付した表彰状・感謝状 ・ 〇月〇日付 〇〇市長よりの感謝状 <input type="checkbox"/> 表彰が団体の場合 ・ 団体が発行した参加証明書	

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

申請様式の追加

ICT活用計画書

I C T 活用計画書

出来形管理用 T S (トータルステーション) を活用する工事に限る
出来形管理用 T S の定義：
現場での出来形の計測や確認を行うために必要な T S、T S に接続された情報機器
(データコレクタ、携帯可能なコンピューター)、及び情報機器に搭載する出来形管理
用 T S ソフトウェアの一式

活用概要	(記入例) 盛土工〇〇m ³ の施工において T S を活用した出来型管理を 実施する。
使用する機器の仕様等 (参考)	
技術名 (製品名)	
T S 出来型管理要領対応の可否	
国土地理院登録等級	
ソフトウェア名	
使用する出来型管理用ソフトウェア (参考)	
ソフト種類	
技術名 (製品名)	
※使用する機械の仕様、出来型管理用ソフトウェアについては、現段階で予定されて いるものを記入してください。未定の場合は「未定」でも構いません。	

災害協定証明書

(案)

証 明 書

所在地 ○〇県△△市□-□
商号又は名称 ○〇建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 ○〇 ○〇
許可番号 国土交通大臣許可 ○〇-〇号

上記の者は、平成〇年〇月〇日¹ 付けて国土交通省中部地方整備局との間で締結した
「災害時又は事故における中部地方整備局所管施設の緊急的な応急対策の支援に関する
協定書」に基づいて災害応急活動等に従事する者であることを証明する。

平成23年〇月〇日²

社団法人 ○〇建設業協会
会 長 ○〇 ○〇 印

※協定書の写しは、提出する必要はありません。
※年度内の証明日であれば、参加申請の度に新しい証明書は必要ありません。

*1 平成〇年〇月〇日：最新の協定書の日付を記入
*2 平成23年〇月〇日：平成23年4月1日以降の日付であれば年度内は有効とします

平成23年度 工事総合評価運用ガイドラインの改定

申請様式の追加

チェックリスト

表紙1—2

技術者の能力

- ・注意1) チェックは「■」のように記入してください。「レ」はチェック箇所が不明確になりますのでやめてください。)
- ・注意2) チェック漏れ、チェックミスがあると加点されない場合があります
- ・注意3) 最大3名を限度(経常建設企業体には各構成員に対し最大3名を限度)

氏名	評価項目	評価内容	記載事項	備考(添付書類等)
	配置予定技術者の同種・類似工事の施工実績	平成8年度以降に、元請けとして施工した同種・類似工事の実績を評価 【分任官は対象年度を設定しない】	<input type="checkbox"/> 同種 <input type="checkbox"/> 類似 <input type="checkbox"/> 同種のみは同種に■を付し類似を削除	別記様式3
	継続教育(CPD)単位の取得状況	平成22年4月1日以降に配置予定技術者が年間推奨単元以上を取得した場合に評価	<input type="checkbox"/> 年間推奨単位を取得 <input type="checkbox"/> 年間推奨単位を取得していない	建設系CPD協議会等に加盟する団体が発行するCPD単取得証明書
	優良工事技術者表彰(平成19年度～22年度表彰)	中部地方整備局長又は中部地整管内の事務所長(管理所长・室長)より「技術者表彰」を受賞の場合に評価	<input type="checkbox"/> 局長表彰あり <input type="checkbox"/> 事務所長表彰、室長表彰、2回以上あり <input type="checkbox"/> 事務所長表彰、室長表彰あり <input type="checkbox"/> 表彰なし	添付書類必要なし

氏名	評価項目	評価内容	記載事項	備考(添付書類等)
	配置予定技術者の同種・類似工事の施工実績	平成8年度以降に、元請けとして施工した同種・類似工事の実績を評価 【分任官は対象年度を設定しない】	<input type="checkbox"/> 同種 <input type="checkbox"/> 類似 <input type="checkbox"/> 同種のみは同種に■を付し類似を削除	別記様式3
	継続教育(CPD)単位の取得状況	平成22年4月1日以降に配置予定技術者が年間推奨単元以上を取得した場合に評価	<input type="checkbox"/> 年間推奨単位を取得 <input type="checkbox"/> 年間推奨単位を取得していない	建設系CPD協議会等に加盟する団体が発行するCPD単取得証明書
	優良工事技術者表彰(平成19年度～22年度表彰)	中部地方整備局長又は中部地整管内の事務所長(管理所长・室長)より「技術者表彰」を受賞の場合に評価	<input type="checkbox"/> 局長表彰あり <input type="checkbox"/> 事務所長表彰、室長表彰、2回以上あり <input type="checkbox"/> 事務所長表彰、室長表彰あり <input type="checkbox"/> 表彰なし	添付書類必要なし

氏名	評価項目	評価内容	記載事項	備考(添付書類等)
	配置予定技術者の同種・類似工事の施工実績	平成8年度以降に、元請けとして施工した同種・類似工事の実績を評価 【分任官は対象年度を設定しない】	<input type="checkbox"/> 同種 <input type="checkbox"/> 類似 <input type="checkbox"/> 同種のみは同種に■を付し類似を削除	別記様式3
	継続教育(CPD)単位の取得状況	平成22年4月1日以降に配置予定技術者が年間推奨単元以上を取得した場合に評価	<input type="checkbox"/> 年間推奨単位を取得 <input type="checkbox"/> 年間推奨単位を取得していない	建設系CPD協議会等に加盟する団体が発行するCPD単取得証明書
	優良工事技術者表彰(平成19年度～22年度表彰)	中部地方整備局長又は中部地整管内の事務所長(管理所长・室長)より「技術者表彰」を受賞の場合に評価	<input type="checkbox"/> 局長表彰あり <input type="checkbox"/> 事務所長表彰、室長表彰、2回以上あり <input type="checkbox"/> 事務所長表彰、室長表彰あり <input type="checkbox"/> 表彰なし	添付書類必要なし

(用紙A4版)

表紙1—3

企業の能力、地域精通度、地域貢献度、施工能力

- ・注意1) チェックは「■」のように記入してください。「レ」はチェック箇所が不明確になりますのでやめてください。)
- ・注意2) チェック漏れ、チェックミスがあると加点されない場合があります

企業名	評価項目	評価内容	記載事項	備考(添付書類等)
	企業の同種・類似工事の施工実績(平成8年度以降)	平成8年度以降に、元請けとして施工した同種・類似工事の実績を評価	<input type="checkbox"/> 同種 <input type="checkbox"/> 類似 <input type="checkbox"/> 同種のみは同種に■を付し類似を削除	別記様式2
	優良工事表彰(平成21、22年度)	中部地方整備局長又は中部地方整備局管内の事務所長(管理所长・室長)より「優良工事技術者表彰」を受賞の場合に評価	<input type="checkbox"/> 局長表彰あり <input type="checkbox"/> 2年連続で事務所長表彰又は室長表彰あり <input type="checkbox"/> 事務所長表彰、室長表彰が1年で複数あり <input type="checkbox"/> 事務所長表彰、室長表彰あり <input type="checkbox"/> 表彰なし	添付書類必要なし
	工事成績優秀企業認定(平成21、22年度)	「工事成績優秀企業」として認定されている場合に評価	<input type="checkbox"/> 工事成績優秀企業に認定されている <input type="checkbox"/> 認定されていない	添付書類必要なし
	安全工事表彰(平成21、22年度)	中部地方整備局長より「安全工事表彰」を元請として受賞の場合に評価	<input type="checkbox"/> 2年連続安全工事表彰あり <input type="checkbox"/> 安全工事表彰あり <input type="checkbox"/> 安全工事表彰なし	添付書類必要なし
	その他表彰(平成21、22年度)	中部地方整備局管内の事務所長(管理所长・室長)より「その他表彰」を元請として受賞の場合に評価	<input type="checkbox"/> 2年連続表彰あり <input type="checkbox"/> 表彰あり <input type="checkbox"/> 表彰なし	表彰状の写し
	平成8年度以降の近隣地域内の工事実績	人孔説明書に記載する近隣地域内において一定規模以上の工事実績がある場合に評価	<input type="checkbox"/> 一定規模以上の実績あり <input type="checkbox"/> 一定規模未満で500万円以上実績あり <input type="checkbox"/> 当該地域で実績なし	別記様式4
	地域内拠点の有無	人孔説明書に記載する設定地域に本店が有る場合に評価	<input type="checkbox"/> 人孔説明書に記載する設定地域に本店あり <input type="checkbox"/> 競争参加条件地域内に本店あり <input type="checkbox"/> 競争参加条件地域内に支店・営業所ありかつ中部地方整備局管内に本店あり <input type="checkbox"/> 競争参加条件地域内に支店・営業所あり	添付資料必要なし
	災害活動実績	平成18年4月1日以降に、中部地方整備局管内において、国の機関、政府関係機関、自治体等の要請を受けて、緊急的に実施した災害支援活動(鳥インフルエンザ等防疫活動を含む)及び「中部地方整備局管外において、中部地方整備局、事務所の要請により災害支援活動を行った実績がある場合に評価	<input type="checkbox"/> 中部地方整備局及び管内事務所の要請による活動実績あり <input type="checkbox"/> 上記以外の機関からの要請による活動実績あり <input type="checkbox"/> 活動実績なし	要請書、契約書、感謝状の写し等 別記様式1: 災害活動実績概要書
	災害協定締結の有無	「人孔参加者が会員等となっている法人格を有する団体」と「中部地方整備局」、「中部地整管内の事務所」、又は「工事毎に設定する拠点の有無に係る設定地域において国の機関、政府関係機関、自治体等」が災害協定を締結している場合に評価 ・個別企業との協定締結は評価しない	<input type="checkbox"/> 中部地方整備局及び管内事務所との協定締結あり <input type="checkbox"/> 工事毎に設定する拠点の有無に係る設定地域内の上記以外の機関との協定締結あり <input type="checkbox"/> 協定締結(中継地等)の写しは削除 <input type="checkbox"/> 協定締結なし	加盟団体が発行した証明書(平成23年4月1日以降発行に限る)
	ボランティアによる地域貢献	中部地整管内における道路、河川行政に係るボランティア活動により、中部地整の事務所長(管理所长)及び自治体の長から「人孔参加者」や「人孔参加者が会員等となっている団体」が表彰や感謝状を受けた場合に評価 ・表彰、感謝状の付身機関と同一県内の事務所まで評価 ・評価対象の期間は委員日より2年間	<input type="checkbox"/> 表彰あり <input type="checkbox"/> 表彰なし	表彰状、感謝状の写し 別記様式II: ボランティア活動実績概要書
	道路除雪作業の実績	平成18年4月1日以降に、中部地整管内において、国又は自治体が積雪期をとおして発注する24時間体制の道路除雪作業の実績(下請けも含む)がある場合に評価 ・対象実績は発注が道路除雪作業のみの場合	<input type="checkbox"/> 実績あり <input type="checkbox"/> 実績なし	実績を証明できる資料(契約書等)及び24時間体制であることが確認できる仕様書等)
	河川、道路維持作業の実績	平成18年4月1日以降に、中部地整管内の事務所(管理所长)が発注する24時間体制の直轄河川・道路の応急維持作業の実績がある場合に評価	<input type="checkbox"/> 実績あり <input type="checkbox"/> 実績なし	実績を証明できる資料(契約書等)及び24時間体制であることが確認できる仕様書等)
	担当技術者の資格	【地域要件の設定が中部地方整備局管内の場合は削除】 自社職員で1級建築施工管理技術者の有資格者を配置する場合に評価	<input type="checkbox"/> 配置する <input type="checkbox"/> 配置しない	別記様式5、資格を確認できる書類の写し
	建設ICT活用	TISを活用した施工を実施する場合に評価(TIS活用工事限定)	<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 実施しない	別記様式III: 建設ICT活用計画書
		【担当技術者評価、TIS活用工事の場合】		

(用紙A4版)

低入札価格調査基準価格の見直し

現場管理費が官積算の80%を下回ると、工事成績評定点が平均点未満となる工事の割合が増加し、契約内容に適合した履行がなされない恐れがあることから、公共工事の品質確保のため、低入札価格調査基準価格※の計算式を見直すこととした。

※低入札調査基準価格とは、予算決算及び会計令第85条において、「当該契約の内容に適合した履行がされないこととなるおそれがあると認められる場合の基準」として、この価格を下回った場合には調査を行うこととしている価格のこと

低入札価格調査基準価格の見直しについて

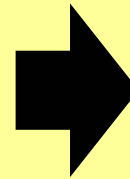
H21.4～現行

【範囲】

予定価格の7.0/10～9.0/10

【計算式】

直接工事費 × 0.95	} 合計額 × 1.05
共通仮設費 × 0.90	
現場管理費 × 0.70	
一般管理費等 × 0.30	



H23.4～

※平成23年4月1日以降入札公告をする工事から適用

【範囲】

予定価格の7.0/10～9.0/10

【見直し(案)の計算式】

直接工事費 × 0.95	} 合計額 × 1.05
共通仮設費 × 0.90	
現場管理費 × 0.80	
一般管理費等 × 0.30	